

第13回 東日本大震災子ども支援意見交換会のご案内

—子どもの貧困をめぐって—

子どもの貧困は、様々な要因による家庭の所得低下がもたらすのですが、それは子どもの暮らしに大きく影響します。被災地域では、子どもたちの学習機会や場を保障して、保護者の不在、住居や家庭の変化、家庭の所得や習い事の支出の変化が子どもたちの暮らしや希望に影響を及ぼさないように、学習支援の取り組みや奨学金制度等が創設されてきました。

しかし、日本全体で子どもの貧困が問題となるなかで、被災地における子どもたちの貧困問題は、それぞれの家庭の実態を明らかにしていかなければ、その解明と有効な対策を抽出することが大変難しいため、いまだに有効な施策が示されていません。

格差が広がる被災地の子どもたちの暮らしの状況について、貧困問題に取り組む政府や現場からの報告や提言を受け、今後私たちがどのような支援を取り組まなければならないのか、情報・意見交換会を行いたいと思います。

ぜひ、ご参集ください。

日時：2014年11月14日（金）11時～13時

場所：参議院議員会館 101会議室

*10時30分から10時50分までに受付においでくださるようお願いします。



司会進行：森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授）

荒牧重人（東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員 山梨学院大学教授）

<報告>

1 子どもの貧困をめぐる現状と支援に関する問題の整理

森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長 東洋大学教授）

2 国による被災地の子どもの貧困対策

内閣府・厚生労働省・文部科学省、復興庁（予定）

3 被災地からの報告

・学習支援の現場にあらわれる貧困： 片貝英行（キッズドア 東北事業部長）

<指定討論と提言>

・遺児への支援からみえる子どもの貧困： 小河光治（あしなが育英会 奨学課長）

・ひとり親支援からみえる子どもの貧困： 遠野 馨（しんぐるまざーずふおーらむ福島 代表）

・食糧支援からみえる子どもの貧困： 高橋陽佑（ふうどばんく東北AGAIN 事務局長）

・学童保育からみえる子どもの貧困： 池川尚美（宮城県学童保育緊急支援プロジェクト 代表）

・社会的養護からみえる子どもの貧困： 土井香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表）

<意見交換>

<国會議員からの発言>



<主催> 東日本大震災子ども支援ネットワーク

事務局：東洋大学白山校舎2号館608号 森田明美研究室

TEL・FAX 03-3945-7481 E-mail : info@shinsai-kodomoshien.net